

日退教発号外  
2023年11月7日  
(FAX2枚)

日本退職教職員協議会  
各単会 会長 様

日本退職教職員協議会  
会長 竹田邦明

## 緊急シンポジウム

「とどまることを知らない暴力～私たちが今ガザで目にしていること～」  
(紹介)

ご活躍に敬意を表します。

10月7日朝に始まったパレスチナ自治区ガザ地区からのハマースの攻撃に対し、イスラエル側は「テロリストによるテロ行為」とし、「戦争」を宣言、ガザ地区への圧倒的な武力を投入し、殺戮を繰り返しています。メディアの多くは歴史的な展開を踏まえない、論評が多くみられます。

この状況を踏まえ、緊急シンポジウムが開催されます。Zoomによるオンライン参加も可能ですので紹介いたします。

期日 11月7日(火) 18-20時

内容 第1部：基調報告

- 1 榛澤祥子(赤十字国際委員会(ICRC)駐日代表)  
「いまイスラエルとガザで起こっていることー“国際人道法の守護者”の立場から」
- 2 早尾貴紀(東京経済大学教授)  
「イスラエルにとってガザ地区とは何か？ー占領の本質を問う」
- 3 東澤靖(明治学院大学教授、PRIME所員)  
「憎しみと恐怖の戦争に、どう立ち向かうことができるのか」

第2部：パネルディスカッションと質疑応答

モデレーター：阿部浩己(明治学院大学教授、PRIME所長)



以上

# ＜緊急シンポジウム＞ とどまることを知らない暴力 ～私たちが今ガザで目にしていること～

日時：2023年11月7日(火)

18:00～20:00

会場：明治学院大学白金キャンパス  
本館10階大会議室

\* Zoomウェビナーを使用したハイブリッド開催

申し込み不要  
参加費無料

学内外どなたでもご参加いただけます。



オンライン参加をご希望のかたは  
こちらからお申し込みください。

10月7日に始まったハマスによる攻撃とイスラエルの報復。すでに多くの市民が犠牲となり、恐怖と不安に日々さいなまれています。さらにイスラエルは、連日の大がかりな空爆、パレスチナ・ガザ地区の軍事包囲に加え、一部の地上戦を開始したこと、その中で犠牲者の数が激増していることが報道されています。こうした事態を受けて、PRIMEとICRC駐日代表部は、共同で本シンポジウムを緊急開催します。凄惨な暴力の応酬と市民の犠牲を国際社会は止めることができるのか？日本の私たちにできることは何なのか？参加者の皆さんとともに考えたいと思います。

## ＜プログラム＞

### 第1部：基調報告

- 1 榛澤祥子 (赤十字国際委員会 (ICRC) 駐日代表)  
「いまイスラエルとガザで起こっていることー“国際人道法の守護者”の立場から」
- 2 早尾貴紀 (東京経済大学教授)  
「イスラエルにとってガザ地区とは何か？ー占領の本質を問う」
- 3 東澤靖 (明治学院大学教授、PRIME所員)  
「憎しみと恐怖の戦争に、どう立ち向かうことができるのか」

### 第2部：パネルディスカッションと質疑応答

モデレーター：阿部浩己 (明治学院大学教授、PRIME所長)

共催 赤十字国際委員会 (ICRC) 駐日代表部  
明治学院大学国際平和研究所 (PRIME)

### お問い合わせ

明治学院大学国際平和研究所 (PRIME)

■ TEL : 03-5421-5652 ■ E-MAIL : prime@prime.meijigakuin.ac.jp

■ URL : <http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime>